

科目名	整形外科科学					
分野	専門基礎分野	担当教員	大竹 雅広			
開講時期	2学年 1・2学期	単位数	講義	実技	演習	実習
時間数	60		4			
科目の概要	<p>整形外科疾患の概要を学び、整形外科的処置の必要性及び妥当性、処置を行った際の生体の反応について理解を深めます。講義は教科書に沿って進めます。最初に重要事項についての講義を行い、その後時間があれば、国家試験レベルの問題を通して、理解の定着をはかります。</p> <p>覚えるべき事項が多く、進度も速いので予習及び復習が必須です。</p>					
学習の到達目標	<p>運動器の基礎知識の習得、及び骨折・捻挫等の診療に必須となる病態生理学の理解、及び治療法への関心をもち、柔道整復師と整形外科医との役割分担や協同作業等について理解する。</p>					
成績評価の方法と基準	4択試験					
使用テキスト	整形外科科学(南江堂) 改訂第4版					
参考文献						
実務経験を有する者	○					
講義計画	講義内容					
1	運動器の基礎知識					
2	整形外科診察法					
3	整形外科検査法					
4	整形外科治療法					
5	骨・関節損傷総論					
6	高齢者の障害予防③:高齢者の外傷予防訓練					
7	疾患別各論 ① A. 感染性疾患					
8	疾患別各論 ② B. 骨および軟部腫瘍					
9	疾患別各論 ③ C. 非感染性軟部・骨疾患(1)					
10	疾患別各論 ④ C. 非感染性軟部・骨疾患(2)					
11	疾患別各論 ⑤ D. 全身性の骨・軟部疾患					
12	疾患別各論 ⑥ E. 骨端症、F. 四肢循環障害					
13	疾患別各論 ⑦ G. 神経・筋疾患(1)					
14	疾患別各論 ⑧ G. 神経・筋疾患(2)					
15	総合評価(まとめ)					

16	身体部位別各論 ① A. 体幹(1) (頸部、胸部)
17	身体部位別各論 ② A. 体幹(2) (腰部)
18	身体部位別各論 ③ B. 肩甲帯および上肢の疾患(1) (肩・肩甲帯)
19	身体部位別各論 ④ B. 肩甲帯および上肢の疾患(2) (上腕)
20	身体部位別各論 ⑤ B. 肩甲帯および上肢の疾患(3) (肘関節)
21	身体部位別各論 ⑥ B. 肩甲帯および上肢の疾患(4) (前腕)
22	身体部位別各論 ⑦ B. 肩甲帯および上肢の疾患(5) (手関節)
23	身体部位別各論 ⑧ B. 肩甲帯および上肢の疾患(6) (手・手指)
24	身体部位別各論 ⑨ C. 骨盤および下肢の疾患(1) (骨盤)
25	身体部位別各論 ⑩ C. 骨盤および下肢の疾患(2) (股関節)
26	身体部位別各論 ⑪ C. 骨盤および下肢の疾患(3) (大腿)
27	身体部位別各論 ⑫ C. 骨盤および下肢の疾患(4) (膝関節)
28	身体部位別各論 ⑬ C. 骨盤および下肢の疾患(5) (下腿・足関節)
29	身体部位別各論 ⑭ C. 骨盤および下肢の疾患(6) (足・足趾)
30	総合評価(まとめ)

(2024年度)